



安全・安心をお届けいたします

グリーンプロジェクト情報 第11号

きらきら Eyeランド

JA庄内みどり

発行：庄内みどり農業協同組合
協力：酒田農業技術普及課

高温登熟で刈取り適期早まる！！ 適期刈取りにより胴割粒防止を！

生育診断圃の穂揃期の調査〔表1〕では、はえぬき・つや姫の収量構成要素は㎡当たり穂数が平年より少なめですが、1穂粒数は多いため、㎡当たり粒数は平年並みの状況です。

今年の出穂盛期は、平年より1日程度早まりました。出穂期以降の天候は良好に推移し、また今後の気温も平年より高いと予報され、刈取り適期は平年より早まると見込まれています。また「はえぬき」は高温登熟年次に該当することから、胴割粒の発生等品質の低下が懸念されますので、圃場ごとの状況をよく見極め、積算気温を目安にして、適期刈取り作業ができるよう準備を進めましょう。

〔表1〕出穂・収量構成要素の状況（酒田市荻島、漆曾根 生育診断圃）

品種		出穂期 (月日)	止葉 (枚)	㎡当穂数 (本/㎡)	1穂粒数 (粒)	㎡当粒数 (粒)	穂揃期の 葉色 (SPAD)
はえぬき	H28年	8月3日	12.0	493	66.2	32,600	38.0
	平年比	(8月5日)	-0.4	94%	106%	100%	+0.4
つや姫	H28年	8月11日	12.2	441	75.8	33,400	36.6
	平年比	(8月11日)	-0.4	94%	111%	104%	+2.9

技、其の一 刈取り前の圃場準備

今後の気温は高い予報となっています。刈取り作業に支障がないように、水田をしめ、適期刈取りに努めてください。但し、異常高温時（フェーン現象時等）には、稲体の活力を維持するため、すぐに湛水できるようにしておきましょう。

近年、大豆栽培後の圃場に雑草のクサネムが多く見られます。この種子が混入すると選別機では除去できず落等の原因になりますので、刈取り前に抜き取りをお願いします。

技、其の二 適期刈取りの目安

今年はお穂期が早まった上にその後高温で推移したため、積算気温での刈取り適期は早まっています。刈取り時期の判断は、下表を参考にしながら、圃場の観察、青粒歩合の推移、粒水分を見て総合的に判断し、刈遅れないよう計画を立てましょう。

【平坦地域適期刈取りの目安】（酒田アメダス値を利用 9/4まで実測値）

項目 品種	出穂期 (中心日)	出穂後の積算温度による今年の刈取り適期予想				
		9/15	9/20	9/25	10/1	10/5
どまんなか	8/1	9/7	9/13			
ひとめぼれ	8/3	9/9	9/16			
はえぬき	8/4	9/8	9/21			
つや姫 コシヒカリ	8/13		9/23		10/4	

【刈取り開始時期の判断項目】

- ① 1穂の粒水分測定による判断…25%以下が刈取り開始時期、23%が適期！！
平均的な1穂の粒を全部脱粒し、青粒と混合して水分検定器（もみ測定に設定する）で数回測定する。
- ② 1穂の青粒歩合による判断…20～15%の青粒歩合で刈取り開始

品種	青粒歩合	粒水分
ひとめぼれ・どまんなか つや姫・コシヒカリ	15%	25%
ササニシキ・はえぬき	20%	25%

技、其の三 刈取り・乾燥・調製作業の留意点

今年はお穂後10日間の気温が高く胴割粒の発生がしやすい状況となっています。以下の点に注意して乾燥調製作業を進めましょう。

- ① 刈り取った粒はヤケ米の発生を防ぐため、速やかに（収穫後2時間以内位）乾燥作業に入るようにしましょう。
- ② 刈遅れは、胴割米・茶米の増加、玄米光沢の低下等品質が著しく低下します。周辺より早めに出穂した圃場では、刈遅れによる品質事故の防止に努めましょう。
- ③ 粒の急激な乾燥は胴割粒の発生を助長しますので丁寧な乾燥・粒摺作業を行いましょう。
- ④ 適正水分は玄米で14.5～15.0%です。水分戻りがないよう注意しましょう。

技、其の四 混米(異品種混入)防止の徹底を！！

収穫・調製時における混米の原因としては、コンバイン・乾燥機・粃摺機などの機械に起因するので、品種の切替え時には、各機械の清掃を徹底し、清掃記録をつけましょう。(清掃時には必ず機械のエンジン・動力を停止して安全に！)

共乾施設では、複数の生産者の粃が搬入されるため、一人の生産者のミスが他の多くの生産者に迷惑をかける事となります。各施設の刈取り計画(月日、品種)のチェックを確実に行ないましょう。

尚、JAグループでは信頼される商品をお届けする為、出荷前のDNA検査に取り組んでいます。

大豆の管理について

☆大型雑草の除去は早めをお願いします！

一部に大型雑草やイヌホオズキなど汚損粒の原因となる雑草も見受けられます。現在、予想される刈取り開始時期は下表の通りです。(コンバインでの収穫)

平成28年産 大豆の刈取り開始の目安(成熟期+7日で試算)

品 種	リュウホウ	エンレイ	里のほほえみ
開 花 期	7月24日中心	7月27日中心	8月1日中心
刈取り開始時期	10月9日頃	10月17日頃	10月26日頃

☆あくまでも目安です。今後の天候で落葉・成熟が早まることもあります。

★「秋季農作業事故防止運動強化月間」です。

9月～10月は、水稻の収穫時期を迎え、コンバインなどの大型農業機械を扱うため、春に次いで農作業事故が多くなる時期です。

作業を焦るあまりに、農作業事故を起こすことの無いように、ゆとりある作業計画を立てると共に事前に機械を整備・点検し、機械の操作は慎重に行いましょう。



米生産履歴記録書の提出について

現在、米生産履歴記録書によりJA米要件を確認させていただいています。

未提出の方は、早急に最寄りの支店まで提出下さるようお願いいたします。



しっかり育てよう！庄内みどりのつや姫

つや姫情報コーナー



○ 早期落水は厳禁！

出穂後30日までは、落水せずに最後の登熟を助けましょう。

○ 出穂後の高温で登熟が進んでいます！

刈遅れにならないようしっかり計画し、9月中を目標に刈り終るようにしましょう。

園芸情報

娃娃菜栽培管理情報



(栽培のポイント)

灌水は、生育に「ムラ」が出ないように定植前のほ場や定植後に灌水チューブ等を使用し、均一に行うようにしましょう。

マルチは、最適な株間に穴が空いている娃娃菜マルチ(グリーン)を使用しましょう。

【基肥】MMB14化成 100 kg/10a、エコロング100 40 kg/10a

【栽植密度】条間 30cm 株間 20cm 4条植ベッド幅 1m~1.2m



(定植後の管理ポイント)

収穫遅れによる規格外品の発生を防ぐ為、段植えをお勧めします。一回に収穫出来る量を把握し2~3段に分けて定植を行う事で収穫遅れを防ぐ事が出来ます。間隔は10日以上ある事が望ましいです。

定植後は病害虫の発生が懸念される為、薬剤防除や防虫ネットの設置で被害を防ぐ事が重要になってきます。

また、縁腐れ症(カルシウム欠乏症)の予防の為、10日に一度の間隔で液体カルシウム剤の葉面散布を行って下さい。また葉色が淡くなってきたら液肥で追肥を行うようにします。

☆ 早めの病害虫防除を心がけましょう。

定植~生育前半についてはコナガ、アオムシ、ヨトウムシ、キスジノミハムシの発生に注意しましょう。害虫による食害は軟腐病の発生を助長する為、定植後20日頃に害虫防除を行います。(結球前の防除が重要)

結球始期~収穫前については、結球葉の中に害虫が入らない様に定期的にコナガ、ヨトウムシの防除を徹底します。

高温期には軟腐病の発生を防ぐ為、多灌水や頭上灌水を避けましょう。

農薬散布は、薬剤抵抗性の出現を防止する為に作用性の異なる薬剤を輪用散布しましょう。収穫期に近くなったら、薬剤の収穫前日数に十分に注意して下さい。



農薬による防除については、必ず使用基準を守りましょう。防除暦に記載されていない農薬を使用する時は、使用前に必ず最寄りの園芸センターにお問合せください。

★次号の発行は10月11日です。